



取付・取扱説明書



盗難発生警報装置

I480S

I480B

CAN BUS SECURITY

CAN BUSシステム搭載車専用

注意！

本説明書内に記載のある「取付」を行うには、車両電装及び盗難発生警報装置の取付に関する専門的な知識と経験が必要です。

本書内には車両電装並びに盗難発生警報装置の取扱に必要な専門用語が使われており、取付説明に従った本装置の取付を行うには車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

目次

はじめに.....	1
安全に正しくお使いいただくための表示について.....	1
梱包物をご確認ください.....	4
取扱に関する説明.....	5
システムセット(警戒).....	5
システム解除.....	6
緊急リセット(解除)の方法.....	6
発報中の解除.....	7
トランクオープナー/パワーリアゲート対応.....	7
警戒中のシステム動作.....	7
各種機能の設定.....	9
機能選択項目説明.....	9
3. インテリジェントIGプロテクト(エンジンスターター対応).....	9
4. リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト).....	9
7. IGオン中ドア開警告(ハザード点滅).....	10
8. オートアーム.....	10
9. サイレン出力.....	10
10. オートリアーム.....	10
15. 車速連動ドアロック機能.....	10
17. イクステリアイルミネーション(解除点滅機能).....	10
その他の機能.....	9
緊急リセットコード変更方法.....	12


Q & A	13
純正キーレスで操作してもシステムがセット／解除されない事がある。.....	13
出先で純正キーレスが使えなくなってしまった！.....	13
システムはセットされているのに何も反応しない！.....	13
純正キーレスでトランクをあけたのにサイレンが鳴り始めた。.....	13
サイレンが鳴り始めたが、純正キーレスで操作しても解除できない。.....	13
ターボタイマーを使用中にシステムをセットできない。.....	13
取付に関する説明	15
実態配線図	15
トヨタ車およびニッサン車のCAN信号線接続先.....	16
配線説明	17
主要パーツの設置.....	18
車両CAN信号の登録(同期)作業.....	19
メモリの初期化方法	19
バックアップサイレン(1480Bの場合)について.....	20
衝撃センサーの感度調整及び作動条件.....	21
取付に関するトラブルシュート	22
CAN信号の登録(同期)がうまくできない！.....	22
車両同期信号の登録はできたが、動作が安定しない！.....	22
テスト時シングルステージが反応しない！.....	22
衝撃センサーで警告が連続してしまう！.....	22
仕様一覧	23


はじめに


この度はVISION1480S/1480Bをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱方法によりご使用いただきますようお願いいたします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

なお、本書は、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。本装置をお使いいただく前に必ずよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

 **危険** 人が死亡するまたは重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **警告** 人が重傷を負う危険が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

 **注意** 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、本装置の故障をまねく内容を示しています。

危 険

● 本装置取付時のバッテリー電源

本装置の取付を行う場合には必ずバッテリー電源をはずした状態で作業を行ってください。電源がはずされていない状態で作業を行うと、車両または車両の機器の突発的な動作により重大な事故の原因となります。

● 本装置の設置位置

コントロールユニットを水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

警 告

● 本装置の取付

本装置の取付には車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 本装置の設置位置

本装置は車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には設置しないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付を行うと本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 12V車専用

本装置は12V電源専用機器です。24V車への取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● CAN-BUSシステム搭載車専用

本装置は車両CAN通信システムと通信を行う事で正常に機能します。装着対象車両に適合したデータを事前にダウンロードする必要があります。



注意

● 本装置の固定

本製品は確実に固定してください。固定が不十分であると、故障の原因になったり、性能が十分に発揮されない可能性があります。

● 車両のバッテリー交換

車両のバッテリーターミナルをはずす際には必ず本製品の主電源（メインプラ）をはずした状態で行ってください。主電源を接続したままバッテリーを交換すると、登録されているCAN-BUS同期信号が消える等の故障の原因になる可能性があります。

また、ドアロックが作動するなどキーの閉じ込みの原因になる可能性があります。

● エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両

エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両は、バッテリーがはずされたことを記憶する機能を有していることがあります。この記憶状態をリセットするには専用のID番号が必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できないことがあります。

● 取付作業

本製品の取付時は換気と鍵の閉じこめ防止のため窓を開けて作業を行ってください。

● バッテリーあがりについて

バッテリーの寿命は正常な状態で2～3年ぐらいいであり、使わなくても性能は劣化します。また、最近のバッテリーは、車内電装品の充実等により突然性能が落ちます。前回のバッテリー交換から2年以上経過している場合はもちろん、カーセキュリティ装着時にはバッテリーの点検や早めの交換をお勧めします。特に、一回の走行距離が短い、オーディオやカーナビなど電力消費の多い機器を使用している、車の利用回数が少ない(車は乗らなくても多くの電気機器により待機電流として消費します)などの場合は、バッテリー充電能力よりも消費の方が上回るため、十分な充電ができません。

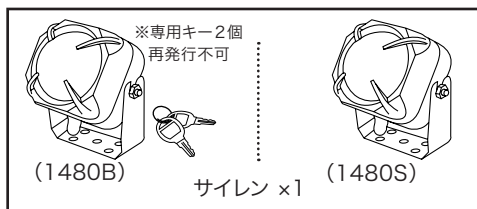
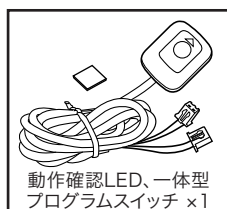
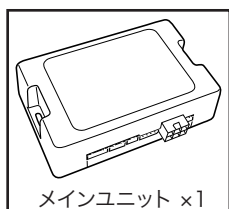
【バッテリー寿命を短くする要因】

- ★ 渋滞・夜間・雨天の利用が多い。
- ★ エアコンを常に利用している。
- ★ オーディオやカーナビなど電力消費の多い機器を利用している。
- ★ 一回の走行距離が短い。
- ★ 車の利用回数が少ない。(車は利用しなくても多くの電子機器により電力が消費されます。)
- ★ 2週間以上乗らない。

⚠ その他の注意

- 万一誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切責任は負いかねます。
- 本製品は盗難防止を目的としたシステムですが、本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

梱包物をご確認ください



その他の梱包物

本説明書	X	1
ステッカー	X	1シート(4枚)
適合証明書	X	1

取扱に関する説明

システムセット(警戒)

通常のセット

車両のすべてのドアを閉め、車両純正のリモコンまたはキーフリーシステム(以下純正キーレス)を使ってドアをロックします。ロックに連動したハザードの点滅終了後チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションをオンにしても発報しません。(センサーはドアロック操作から10秒後に検知を開始します。)



動作確認音(チャープ音)の有無の設定方法

下記手順によりシステムセット/解除時の動作確認音のオン/オフを選択できます。

手順	作業内容
1	IGがオフの状態でプログラムスイッチを1回押します。
2	20秒以内に純正キーレスによりドアをロックします。

動作確認音の設定が変更され、システムがセットされます。



ヒント

設定は上記手順が再度行われるまで変更されません。例えば動作確認音をオフした場合には上記手順を行わない限りオフされたままとなります。

センサーバイパスモードでのセット

下記手順により状況に合わせてシステムセット時に外部センサー(衝撃センサー等)を一時的にスリープさせ、センサーが反応しないようにすることができます。

手順	作業内容
1	IGがオフの状態でプログラムスイッチを2回押します。
2	20秒以内に純正キーレスによりドアをロックします。

動作確認音が発せられる設定になっている場合には、通常セット時1回の確認音が2回発せられバイパスモードでセットされた事を知らせます。



ヒント

バイパスモードは上記手順を行った1回のセット中のみ有効です。

システム解除

純正キーレスを使ってドアをアンロックします。チャープ音が3回発せられ(動作確認音がオフになっている場合には無音)LEDが消灯します。



解除時にチャープ音が4回鳴る場合

システム解除時にチャープ音が通常の3回ではなく4回発せられる場合には、何らかの原因で警戒中に異常発報した事を知らせています。このような場合にはシステム解除後LEDの点滅回数を確認する事で反応したセクター(センサー)を知る事ができます(9頁トリガーマモリー機能参照)。

⚠ 注意!

エンジンスターター装着車の場合、エンジン始動中に純正キーレスにてドアアンロックができない場合があります。これは車両の純正の機能ですので、エンジンを停止させてから純正キーレスにて操作してください。

緊急リセット(解除)の方法

純正キーレス電池切れで使用不可能な場合には、下記手順にしたがってシステムを解除してください。

※ セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず本説明書12頁を参照して緊急リセットコードの変更を行ってください。

手順	作業内容
1	ドアを開け車両に乗り込みます。(この際サイレンが鳴り始めます。)
2	IGをオンにします。
3	プログラムスイッチを任意に登録した緊急リセットコードの回数押します。
4	IGをオフにします。

手順4終了後システムは解除します。

※工場出荷時の緊急リセットコードは6です。

⚠ 注意!

- ※ 入力した緊急リセットコードの回数が正しくない場合、システムは再度サイレンを鳴らしますので、緊急解除の手順を最初からやり直してください。
- ※ 純正キーレスを破損したり、紛失した場合には緊急解除できません。

発報中の解除

発報中にシステムを解除するには、まず車両のすべてのドアを閉める必要があります。ドアを閉じたら純正キーレスを使ってアンロックします。チャープ音が3回発せられ(動作確認音がオフになっている場合には無音)システムが解除されます。

⚠ 注意!

発報時に車両ドアがすでにアンロック状態にある場合には、一旦ドアを純正キーレスでロックしてから再度純正キーレスでアンロックしてください。

トランクオープナー/パワーリアゲート対応

システムセット中に純正リモコンからトランクオープナー/パワーリアゲートを操作した場合、1480に接続しているセンサーはすべてバイパスされます。また、ドア開信号線も一旦トランクが閉じられ5秒経過するまではバイパスされます。

トランク・リリース



⚠ 注意!

車両により対応できない場合があります。その際はシステム解除後にトランクオープナー/パワーリアゲートの操作を行ってください。

警戒中のシステム動作

センサー検知

シングルステージ:

衝撃センサーが弱い衝撃を検知するとチャープ音が5回鳴ります。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

デュアルステージ:

衝撃センサーが強い衝撃を検知すると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します

※センサーバイパスモードでは反応しません。



5回



30秒

GWA(動作中出力)

システムセット中にアース信号が連続して出力されます。(ルミネーターやスタータキルイモビライザー等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。)

ドア開検知(ドアオープンプロテクト)

ドアが開けられると30秒間または解除されるまで異常発報します。

※ CAN信号にボンネット開信号が含まれる車両ではシステム警戒中にボンネットが開けられるとドア開として認識し異常発報を行います。この場合のトリガーメモリもドアとして表示されます。

警戒中のエンジン始動

機能選択(10頁機能選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

プロテクトモード:

エンジンがかけられると30秒間またはシステムが解除されるまで異常発報します。



エンジンスターター/ターボタイマー対応モード:

エンジンがかけられるとセンサーはエンジンが停止するまで無視されます。ただし、このモードが選択されている場合であってもドアは引き続き監視されますので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。



インテリジェントIGプロテクト

インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

動作確認LED

警戒中は通常1秒に1回のゆっくりした点滅を行います。異常発報すると点滅速度が早くなり、一度解除され再度セットされるかイグニッションがONされるまで継続します。一旦発報が止まっても異常があったことを知らせてくれます。



ヒント

異常発報とはシステムが異常を検知し、30秒間のサイレン鳴動やハザードフラッシュを行う事です。

※警告、警報時のハザードフラッシュ機能は車両により機能しない場合があります。

レジューム機能

セット状態を記憶しているため万が一車両バッテリーを外されても、電源が再投入されると異常発報後にセット状態に復帰します。

この時トリガーメモリーはありません。(※11頁「その他の機能」の「(トリガー)メモリ機能」を参照ください。

各種機能の設定

本製品はお客様のご使用される環境に、より適応させるためのモードを搭載しています。機能選択の方法は下記手順にしたがってください。

手順	作業内容
1	車両純正キーレスを使って一度システムをセットした後すぐに解除します。
2	上記操作から20秒以内にIGをオンします。
3	プログラムスイッチを選択したい項目の回数(下記表参照)押します。
4	IGをオフします。

選択した項目の回数LEDが点滅し、設定が変更された事を表示します。
設定モードは自動的に終了します。

※各機能の設定はは上記手順1.~4.を繰り返すたびに入れ替わります。

機能選択表:

選択項目	選択機能	選択内容	工場出荷時
3	インテリジェントIGプロテクト(エンスタ対応)	ブ ロケ / エンスタ	ブ ロケ
4	リモートスタート中確認動作	ON / OFF	OFF
7	IGオン中ドア開警告(ハザード点滅)	ON / OFF	OFF
8	オートアーム	ON / OFF	OFF
9	サイレン出力	連続 / 断続	連続
10	オートリアーム	ON / OFF	OFF
15	車速連動ドアロック	ON / OFF	OFF
17	イクステリアイルミネーション	ON / OFF	OFF

機能選択項目説明

3. インテリジェントIGプロテクト(エンジンスターター対応)

- ・「プロテクト」を選択した場合、警戒中にエンジン始動すると異常発報します。
- ・「エンスタ」を選択した場合、エンジン始動中はドア検知以外では異常発報しないためエンジンスターターとの併用が可能です。

※ インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

4. リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト)

※この機能はエンジンスターター「対応」設定されている場合に有効です。
「ON」を選択した場合、警戒状態でエンジン始動中はハザードが点滅し続けます。



7. IGオン中ドア開警告(ハザード点滅)

「ON」を選択した場合、IGオン中(エンジン始動中)にドアを開けるとドアが閉められるまでハザードが点滅し続けます。

8. オートアーム

「ON」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にシステムをセットします。(ドアロックは行いません。)

9. サイレン出力

- ・「連続」を選択した場合、異常発報時に連続したサイレン信号を出力します。
- ・「断続」を選択した場合、異常発報時に断続したサイレン信号を出力します。

10. オートリアーム

「ON」を選択した場合、システムを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的に再セットします。

15. 車速連動ドアロック機能

「ON」を選択した場合、車両速度が約30Km/hに到達するとドアを自動的にロックしギアが『P』ポジションになるとドアを自動的にアンロックします。

※車速連動ドアロック機能でロックされた後、ギアを『P』ポジションにする以外の方法でドアをアンロックした場合には一旦ギアポジションが『P』に入れられるまでドアは自動的にロックされる事はありません。

⚠ 注意!

車速連動ドアロックが動作した際に車載テレビの画像に稀にノイズが入る場合がありますが、これはドアロック時の車両特有のノイズによるものであり本製品を取付けた事による影響ではありません。

17. イクステリアイルミネーション(解除点滅機能)

「ON」を選択した場合、解除後ハザードランプが点滅します。点滅は30秒経過するか、ドアが開くか、IGがONになるまで続きます。

その他の機能

ハザードフラッシュ機能

発報中→30秒間点滅、予備警告時→3回点滅。

※ 車両により点滅回数が違う場合または利用できない場合があります。

その他の機能(続き)

(トリガー)メモリー機能

通常警戒中は1秒に1回のゆっくりした点滅を行うLEDが、異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅はシステムが再セットされるか解除中にイグニッションがONされるまで続きます。メモリー機能が働いた場合は、システムを解除した後のLEDの点滅回数が、どのセクターが反応したかを知らせてくれます。メモリーは一番新しい反応から3つを記憶しており、一番新しい反応から順番に表示されます。

LED点滅回数	異常検知セクター
0	メイン電源断
2	ドア
3	トランク
4	ボンネット*
6	イグニッション
7	外部センサー

※ CAN信号によるボンネット開検知はドア開信号として認識されます。

※ CAN信号によるボンネット開検知は車両装備により利用できない場合があります。そのような車両でボンネット開検知を行うには別売のボンネットスイッチが必要です。

※ 左表トリガーメモリのボンネット(4)は別売のボンネットスイッチを使用した場合のみ有効です。

バレーモード®機能

車両をメンテナンスに出す等セキュリティーを動作させたくない場合は下記手順によりシステムを動作しないように設定できます。

手順	作業内容
1	IGをオフ、システムを解除状態にします。
2	プログラムボタンを押し、そのまま押し続けます。
動作確認LEDが点灯しはじめます。	
3	プログラムボタンを5秒以上押し続けます。
LEDが消灯しシステムがバレーモードに設定された事を知らせます。	

※ 上記手順をもう一度行くとバレーモードを解除します。

⚠ 注意!

バレーモードの取り扱いには次の点に十分注意してください。

- ・ 設定中であることを確認するための特別な表示を行いません。
- ・ 設定中は純正キーレス操作でシステムのセット/解除はできません。

本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

その他の機能(続き)

セクターバイパス(SBS)機能

同じセクター(ドアを除く)により5回異常発報した場合、または予備警告が10回発せられた場合にはそのセクターは周囲への迷惑を防止するためそれ以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度警戒状態にセットする必要があります。

※ セクターとはドア、IG、センサー等の監視個所のことです。

※ ドア開検知は4回の異常発報後バイパスされますが、一度ドアを閉めるとリセットされます。

緊急リセットコード変更方法

本製品は電池切れで純正キーレスが使用不可能な場合に、緊急リセットによりシステムをリセット(解除)することができる機能を搭載しています。

セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず緊急リセット用コードの変更を下記手順にしたがって行ってください。緊急リセットコードは1～30に設定してください。

※工場出荷時の緊急リセットコードは“6”です。

手順	作業内容
1	イグニッションをオンします。
2	プログラムスイッチを6秒以上押し続けます。 チャープ音が4回鳴ります。
3	スイッチを離します。
4	イグニッションをオフします。 動作確認LEDが5秒間点灯します。
5	上記LED点灯中にIGをオンします。 動作確認LEDがゆっくりと点滅します。
6	LEDが設定したい数の回数分点滅したところでイグニッションをオフします。 LEDが設定した緊急リセットコードの回数だけ点滅します。 緊急リセットコードの設定完了です。

⚠ 注意!


登録した緊急リセットコードは絶対に忘れないようにしてください。

Q & A

Q：純正キーレスで操作してもシステムがセット／解除されない事がある。

A：純正キーレスでドアのロック／アンロック操作が短時間に繰り返されると車種によっては稀に1480が連動できない事があります。このような場合には数十秒時間をおいてからドアロック／アンロック操作を行ってください。

Q：出先で純正キーレスが使えなくなりました！

A：緊急解除コードを使用してセキュリティを解除することができます。解除方法は本説明書6ページの「緊急リセットの方法」を参照してください。

Q：システムはセットされているのに何も反応しない！

A：パレーモードまたはセンサーバイパスモードでセットしていませんか？システムのセット方法によって外部センサーが反応しないモードが用意されています。(本説明書5ページ、10ページをご参照ください)

Q：純正キーレスでトランクをあけたのにサイレンが鳴り始めた。

A：純正キーレスについているトランクリリース機能によりセキュリティ警戒中にトランクを開ける場合には、トランクリリース信号が入力されてから2秒以内にトランクが開けられる必要があります。もしこの時間を過ぎてトランクが開くとサイレンが鳴りだします。

※ 車両により対応できない場合があります。


Q：サイレンが鳴動中に純正キーレスで操作しても解除できない。

A：車両のドアはすべて閉まっていますか？純正キーレスはすべてのドアが閉まっていない場合には操作しても車両側での動作をしないようになっているものがほとんどです。


車両のドアがすべて閉まっている事を確認した後、純正キーレスでの操作を行ってください。車両のドアロックの状態や純正キーレスの機能により、一回の操作で解除される場合と、一旦ロック動作を行ってから改めてアンロック動作を行う必要がある場合があります。

Q：ターボタイマーを使用中にシステムをセットできない。

A：まず車両純正キーレスの機能を確認してください。

ターボタイマー動作中に純正キーレスでドアロックできない場合。

車両の純正機能です。車両の機能により、エンジン動作中は純正キーレスによるドアロックができないため、連動することができません。

ターボタイマー動作中に純正キーレスでドアロックできる場合。

機能選択の「IGプロテクト／エンスタ」項目でエンスタに設定されていますか？「プロテクト」設定になっている場合にはエンジン動作中にセットすることはできません。工場出荷時の初期設定は「プロテクト」になっています。本説明書10頁を参照し設定の変更を行ってください。

取付編

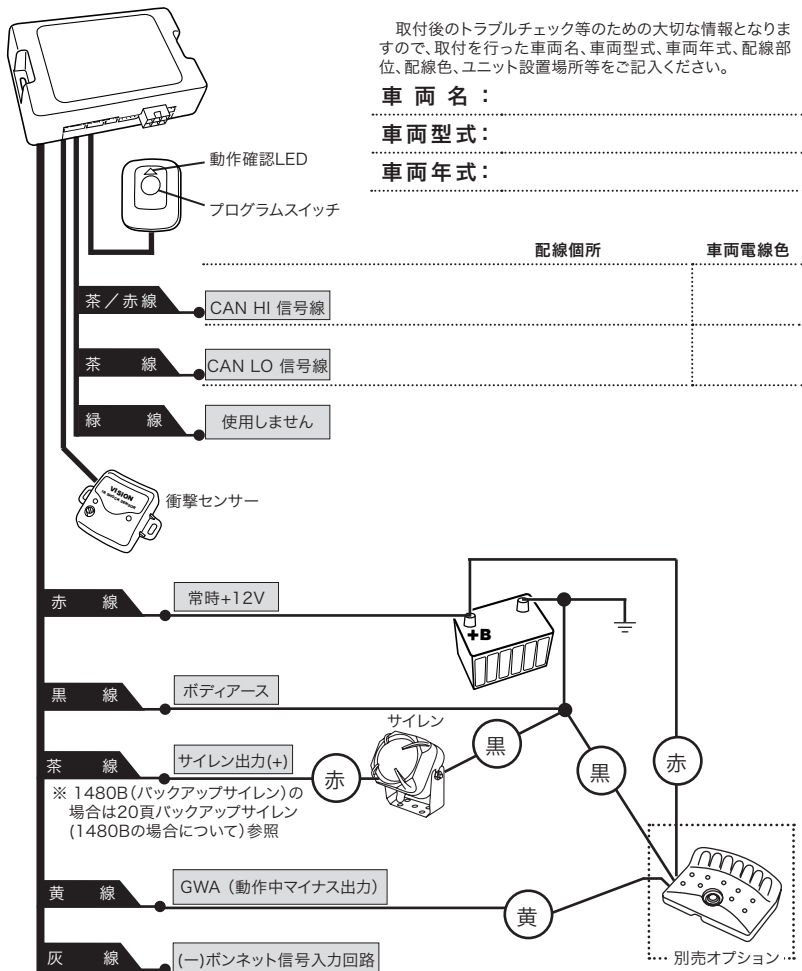
取付作業を行う方へお願い！

- CAN-BUSシステム搭載車専用
本装置は車両CAN通信システムと通信を行う事で正常に機能します。装着対象車両に適合したデータを事前にダウンロードする必要があります。
- CAN信号線（乳白色4極カプラ内の茶／赤線および茶線）を車両電線に接続する際にはエレクトロタップは絶対に使用しないでください。
- システム電源線（乳白色6極カプラ内の赤色線および黒色線）を車両電線に接続する際にはエレクトロタップは絶対に使用しないでください。
- 本製品は車両CAN通信システムと通信を行う事で正常に機能します。
エレクトロタップ等を使用した取付では、電線同士の接触不良等が原因で正常な通信ができなかったり、システムの電源が不安定となり正常な機能ができなくなる可能性があります。
電線同士の接続作業はできる限りスプライス（型式:29014S）または半田付で行ってください。
- 本製品はすべての配線接続終了後、車両CAN通信システムの登録（同期）作業を行う必要があります。この作業を行わないとシステムは動作しませんのでご注意ください。

取付に関する説明

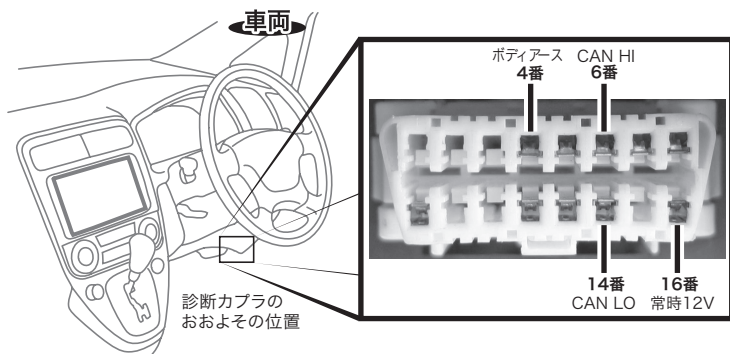
※ 本システムはCAN信号登録作業を行わないと動作しません。

実態配線図



※ すべての配線接続完了後、P19の車両CAN信号の登録作業を行ってください。

トヨタ車およびニッサン車のCAN信号線接続先



1480接続ハーネス電線色	診断(OBD II) カブラ内の接続先電線とその端子番号(端子位置は上図参照)	
赤色	常時+12V電源	16番
黒色	ボディーアース	4番
茶/赤	CAN HI	6番
茶	CAN LO	14番

⚠ 注意!

カブラを電線(裏)側から見た場合、端子位置は上図の鏡写しになるので注意してください。

⚠ 注意!

上記CAN信号接続先はトヨタ車およびニッサン車用です。それ以外の車両では必ず当社が車種毎に指定する線に接続してください。トヨタ車およびニッサン車以外で上記電線に接続すると本製品の故障のみならず、車両故障の原因となりますので絶対にやめてください。

⚠ 注意!

車両電線に接続する際は絶対にエレクトロタップは使用しないでください。

配線説明

乳白色4極カブラ

衝撃センサーを接続するためのカブラです。付属の衝撃センサーのハーネスをさし込んでください。

赤色2極カブラ

動作確認LEDを接続するためのカブラです。動作確認LED一体型プログラムスイッチの赤色のカブラをさし込んでください。

白色2極カブラ

プログラムスイッチを接続するためのカブラです。動作確認LED一体型プログラムスイッチの白色のカブラをさし込んでください。

白色3極カブラ

使用しません。

乳白色4極カブラ

茶／赤色線

当社が車種毎に指定するCAN-Hi信号線に接続します。
※トヨタ車およびニッサン車は前ページ参照。

茶色線

当社が車種毎に指定するCAN-Lo信号線に接続します。
※トヨタ車およびニッサン車は前ページ参照。

緑色線

使用しません。

乳白色6極カブラ

赤色線

+12V常時電源に接続します。【エレクトロタップ使用不可】
※前ページ記載の診断(OBD)カブラ電源への接続を推奨します。



ヒント

赤色線の接続先は電流容量が十分ある電線を選んでください。常時電源の容量が不足すると衝撃センサー等が連続で反応するなどの不安定動作をおこす可能性があります。このような症状が見られる場合には赤色線の接続先を変更するか、センサー用の電源を専用カブラ以外の所に接続してください。

黒色線

(-)ボディーアースに接続します。【エレクトロタップ使用不可】
※前ページ記載の診断(OBD)カブラ内のボディーアースへの接続を推奨します。接触不良があると動作不良の原因となりますので、エレクトロタップ等での接続は行わないでください。

灰色線

(-)ボンネットスイッチ検知線

別売オプションのボンネットスイッチ(S-113またはS-114R)の取付に使用します。ボンネットスイッチの取付は別売ボンネットスイッチに添付の説明書を参照ください。

黄色線

GWA(動作中)出力線

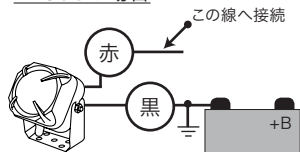
システムセット中アース信号が出力されます。別売のルミネーターやスタータキル・イモビライザー等の取付に使用します。出力最大電流は(-)500mAです。

茶色線

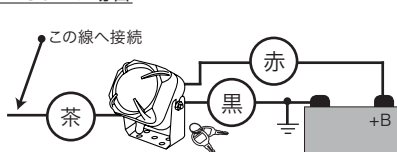
(+)外部サイレン出力線

異常時にサイレンを発報させるための(+)信号線です。サイレンの赤色線へ接続します。出力最大電流は(+)1Aです。

1480Sの場合



1480Bの場合



※ バックアップサイレンについての詳細は
20頁参照

主要パーツの設置

メインユニット

車内の適当な(なるべく犯罪者が見つけにくい)場所に結束バンドや両面テープ等を使って固定してください。

動作確認LED一体型プログラムスイッチ

付属の両面テープを使用し、お好みの場所に貼付けてください。



ヒント

動作確認LEDが車外からよく見える場所に設置してください。

サイレン

エンジンルーム内にネジ等を使用して設置します。サイレンの設置方向はサイレンから出ている電線部が上を向かないようにしてください。水の浸入による故障の原因になります。次のような場所への取付は避けてください。

1. 熱源付近(エンジン排気側等)
2. 水がかかる場所(バンパー内への取付は絶対に行わないでください。)



ヒント

※ サイレンは何度も高温にさらされるような場所に設置すると、スピーカーに使用されているコイル等が破損する可能性があります。

主要パーツの設置(つづき)

衝撃センサー

プラスチック部品に必ず両面テープで固定してください。センサーハーネスは無理な力がかからないように気をつけてください。特にセンサーに対して直角方向にハーネスが引っ張られるような取付は行わないでください。感度の低下や誤作動が起こる可能性があります。(設置向きは床面に対して垂直でも逆さでも問題ありません)

また、次のような場所への取付は避けてください。

1. 直射日光が当たるような場所
2. 熱源付近
3. 水がかかる場所(エアコンダクトは不可)



ヒント

別売のオプションセンサーを併用する場合には、必ず別売のセンサー・分岐P/Sユニット:318-035をご利用ください。

車両CAN信号の登録(同期)作業

メモリの初期化

CAN信号の登録を行わないとシステムは動作しません。必ず下記手順にしたがってCAN信号の登録(同期)作業を行ってください。

手順	作業内容
1	6ピンカブラを抜くかハーネス上のヒューズを抜いて電源を落とします。(10秒程そのまま放置します。)
2	イグニッションをオンにします。
3	プログラムスイッチを押しながら電源を投入します。
サイレンが鳴動しはじめます。 ※この時点で初期化完了	
4	サイレンが鳴りはじめたらプログラムスイッチを離します。
5	再度プログラムスイッチを一度押します。
LEDが4回点滅してから点灯します。	
6	イグニッションをオフします。
登録作業の完了です。	



ヒント

機能設定の内容および緊急リセットコードをすべて工場出荷時の状態に戻した場合には、上記「車両CAN信号の登録(同期)作業」を行う事でシステムメモリをすべて工場出荷時の初期状態に戻す事ができます。

CAN信号は上書きされます。

バックアップサイレン(1480Bの場合)について

設置について

エンジンルーム内にネジ等を使用して設置します。サイレンの設置方向はサイレンから出ている電線部が上を向かないようにしてください。水の浸入による故障の原因になります。また、サイレン背面にあるセット/解除キーの操作ができるように注意してください。次のような場所への取付けは避けてください。

1. 直射日光が当たるとような場所
2. 熱源付近
3. 水がかかる場所

ワンポイント

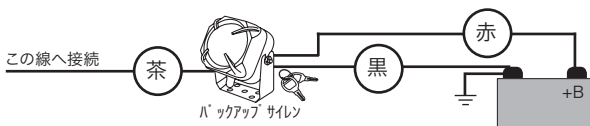
キーのセットは必ずすべての配線が完了してから行ってください。

ヒント

- ※ 本製品はニッカドバックアップ電池を内蔵しています。電池の通常使用による寿命は3年程度(保証は1年)ですが、長時間温度が高くなる場所で使用されると内蔵電池がこわれます。設置場所は熱源からできるだけ離し、高温にならない場所を選んでください。

接続及び操作について

1480Bでは下図の通り本体6極カプラ茶色線をサイレンの茶色線へ接続します。出力最大電流は(+) $1A$ です。(サイレンの赤、黒色線はそれぞれ(+) $12V$ 常時電源とボディアースへ接続してください)。橙(オレンジ)色線は使用しませんので絶縁処理をしてください。



重要

- ※ サイレン固定用ステイは防サビ塗装が施されています。アースを固定用ステイに共締めすると接触不良により突然サイレンが鳴り続ける等の不具合が発生し、最悪の場合サイレンがこわれる可能性があります。固定用ステイへのアース線の接続は絶対にやめてください。
- ※ 赤色線はメインユニット電源と同じ場所へ接続しないでください。
- ※ 一部車両の充電制御システム装備車では、バッテリーへの配線方法によりバッテリー上がりを起こす可能性があります。
- ※ 鍵の再発行はできません。大切に保管してください。

ヒント

- ※ すべての配線終了後、付属のキーでOFF(赤印)からON(緑印)へまわしてください。未配線のままキーを回すと断線とみなして警報が鳴り続けます。

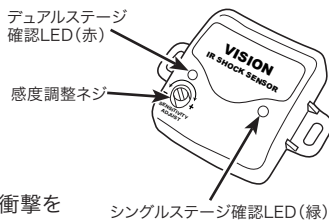


全ての配線終了後
キーを回し動作を開始します。

衝撃センサーの感度調整及び作動条件

感度調整

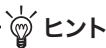
センサーコントロールユニット中央部にある感度調整ネジをまわして感度調整します。ネジを時計回りにまわすとセンサー感度が敏感になり、逆にまわすとセンサー感度はにぶくなります。



感度について

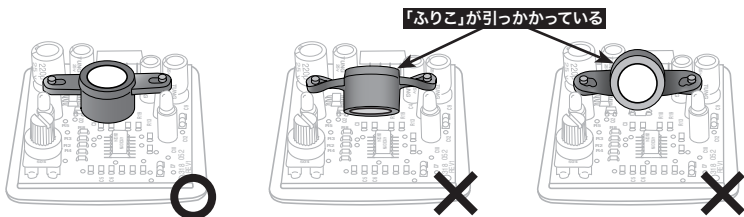
本センサーは車両ボディに加えられた瞬間的な衝撃を検知し、衝撃の強弱を判別して警告信号または警報信号を出力し、アラームを作動させるためのセンサーです。

瞬間的な衝撃を検知するため、適度な感度設定であれば風などによるゆれには反応しません。ただし、台風時の突風や雷、花火、ヘリコプターなどの瞬間的な振動が発生する場合は作動する可能性があります。



- ※ 交通量の多い幹線道路沿いや鉄道の近くなどに駐車する場合、感度が高すぎるとこれらの環境ノイズによって誤報となる可能性があります。使用環境にあわせて適切な感度でご利用ください。
- ※ センサー感度はセンサー自体の温度変化によっても変動します。感度は温度が高くなるとにぶく、低くなると敏感になり、その差はおおよそ20%程度です。冬季は夏季よりも感度を低くしてご利用ください。
- ※ センサーがまったく反応しない場合、センサーが落とされる等してセンサー内部の振動検知用「ふりこ」が下記写真のように異常な状態で引っかかっていることがまれにあります。このような場合には下記手順にしたがって「ふりこ」を正常位置にもどしてください。
 1. センサーからカプラを抜く。
 2. センサーのふたをはずす。(ふたはカプラ部分を押さえるようにして固定用タブを持ち上げると簡単にはずす事ができます。)
 3. 「ふりこ」を「正常位置」図を参照して正常位置にもどす。
 4. センサーのふたを閉める。
 5. センサーを元の場所に設置する。

※センサーの警戒開始はLED点滅開始から10秒後です。



取付に関するトラブルシュート

Q : CAN信号の登録(同期)がうまくできない!

A : 車両信号の登録を繰り返さず、必ず次の事を確認し、接続しているCAN信号の接続先が正しいか、システムの車両のデータが取付を行っている車両型式とあっているかを再確認してください。接続先を間違えた状態で何度も登録を繰り返すと故障の原因となります。

● CAN通信線の接続が正しいか?

本説明書内に記載のある診断カプラでの接続はトヨタ車およびニッサン車の場合のみです。それ以外の車両では診断カプラにCAN通信線を接続することはできません。必ず車両毎の接続先に関する情報にしたがって作業を行ってください。

尚、車両のCAN通信線は必ずツイスト(二本の線が互いに巻き付いた状態)線です。

● 本システムは車両毎に適切なデータを使用する必要があります。取付を行う車両の型式や年式を確認し、正しいデータをシステムにダウンロードしましたか? CAN通信は車両毎で通信速度や通信内容が大きく異なりますので正しいデータを使用しないと登録する事ができません。


Q : 車両同期信号の登録はできたが、動作が安定しない!

A : 本システムは車両毎に適切なデータを使用する必要があります。取付を行う車両の型式や年式を確認し、正しいデータをシステムにダウンロードしましたか? CAN通信は車両毎で通信速度や通信内容が大きく異なります。同じ自動車メーカーの似たようなデータを使用した場合には登録する事ができてもしっかり動作しません。


また、常時電源、アースが不安定な場合や車両バッテリーが弱っている場合も安定動作しません。

テスト時シングルステージが反応しない!

Q : まずセンサーのシングルステージ確認LED(緑)を確認してください。

A :  軽い衝撃を与えた際にLEDが光らない場合。

センサー感度を調整してください。

 軽い衝撃を与えた際にLEDが光る場合。

警戒開始は動作確認LEDの点滅開始から10秒後です。

Q : 衝撃センサーで警告が連続してしまう!

A : 衝撃センサーの感度設定が高すぎると、警告を発する際のハザードランプリレーなどの動作振動やサイレン鳴動時の振動をとらえ警告が続いてしまう事があります。このような場合には衝撃センサーの設置場所を変更するか感度を少し低くしてください。

仕様一覧

メインユニット仕様:

定 格 電 圧	DC12V
消 費 電 流	待機時2mA(車両CANスリープ時)
動 作 周 囲 温 度 範 囲	-40℃ ~ 85℃
保 護 構 造	IP40

衝撃センサー仕様:

定 格 電 圧	DC12V
消 費 電 流	待機時5mA
動 作 周 囲 温 度 範 囲	-40℃ ~ 85℃
振 動 検 知 方 式	赤外線方式
保 護 構 造	IP40

サイレン仕様仕様:

定 格 電 圧	DC12V
消 費 電 流	警報時 約1A
動 作 周 囲 温 度	-40℃ ~ 125℃
保 護 構 造	IP54

《保証・無料修理規定》

- 1:本製品の保証期間はご購入日より1年間です。
- 2: 取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、ご購入の販売店にて無料修理いたします。
ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。
- 3: 保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、製品と本書をご持参の上ご購入の販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付してください。
- 4: ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるご購入の販売店に修理をご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。
- 5: 本製品は持ち込み修理品です。製品をお送りいただく際の送料および取はずし、取付費用は、お客様のご負担となります。
- 6:保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - 製品内への水・油分等の浸入による故障及び損傷
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - ご購入後の落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
 - 普通乗用車、軽自動車以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 適合車種以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 車両側のCAN-BUSデータが変更された場合
 - 装着車両の入れ替えなどでCAN-BUSデータの書き換えが必要な場合
 - 本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
 - 本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合
- 7:本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- 8:本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

⚠ 注意!

- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※ 保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、ご購入の販売店へお問い合わせください。
- ※ 各記入欄に必要な事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認ください。万が一記入漏れ事項がある場合は、直ちにご買上げの販売店にてお申し付けください。
- ※ 製品同梱の適合証明書は車検時の審査通過を保証するものではありません。
- ※ 本製品の動作の有無に関わらず盗難等の被害については当社では一切の責任を負いかねます。

保証書

製品名	VISION CAN一体型純正キーレス連動セキュリティ
型式	<input type="checkbox"/> 1480S <input type="checkbox"/> 1480B
保証期間	お買上げ日より1年間
※お買上げ日	年 月 日
※お客様	お名前 様
	〒 ご住所
	電話番号 ()
※販売店	店名
	〒 住所
	電話番号 ()

切り取り線

※印は必ずご記入ください。記入の無い物、改ざんされた物は無効です。

購入レシート添付

製造元 株式会社キラメック (VISION JAPAN)

〒475-0936 愛知県半田市板山町9丁目183番地1

お問い合わせ先：0120-504-980 (土、日、祝祭日、当社休業日を除く)
AM10:00~12:00・PM1:00~4:00